

令和6年9月10日

市政記者各位

福岡市住宅都市局一人一花推進部動物園

メスゾウ（12歳）の死亡について

令和6年9月10日（火）11時頃に、福岡市動物園で飼育しておりましたアジアゾウのメス（12歳）が死亡しました。このゾウは、令和6年7月30日にミャンマーより福岡市動物園に到着した4頭のうちの1頭です。

なお、ミャンマーから来福している獣医にも確認したところ、福岡市動物園で飼育している他のアジアゾウ3頭（オス14歳、メス(母)22歳、メス(子)3歳）の健康状態に問題はありません。

記

1. 個人情報

（性別）メス

（生年月日）2012.2.21

（ミャンマー名）モー・トウン・ヌエ



2. 経過

令和6年9月5日(木) 右後ろ足を引きずるような様子が見られたため、マフー・ミャンマー獣医に相談の上、鎮痛剤投与を実施。

令和6年9月6日(金) 左後ろ足にも引きずるような様子が見られた。

同日、定期のゾウヘルペスウイルス PCR 検査実施。

令和6年9月7日(土)～9月8日(日)

経過観察を続ける。両足を引きずるような様子には変わりはないが、食欲やほかの健康状態に変化なし。

令和6年9月9日(月) 朝、元気なくメスの食欲低下確認。

13:00 9月6日に実施した PCR の結果、陽性と判明。

16:00 抗ウイルス薬投与

22:00 抗ウイルス薬投与

令和6年9月10日(火) 04:00 抗ウイルス薬投与

09:05 相変わらず食欲がないため、ミャンマー獣医師が静脈から補液（水分補給）を入れるため鎮静剤を投与。

11:00 急に意識がなくなり倒れこむ。

11:05 死亡を確認

3. 死因

ミャンマー獣医によると、ゾウヘルペスウイルスと思われる症状があったが、原因について現段階では特定できていない。

死因分析のため解剖を実施。

<問い合わせ先>

福岡市住宅都市局一人一花推進部

動物園 園長 川越

電話：092- 531-1960